

第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
オオサカケイザイホウカダケイ	ケイザイガク	ビジュアルポートクベツエンシュウ
大阪経済法科大学	経済学部	B L P 特別演習

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
ファイター	タカ ショウ	3
チーム FIGHTER	田中 翔	

研究テーマ（発表タイトル）

『紙コップ非リサイクル対策』

1. 研究概要（目的・狙いなど）

現在問題視されている、いくつかある環境問題の中でも特に身近に存在する、紙コップの消費量問題について研究、改善案を模索。その研究結果を発表。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

環境問題の中に、海洋問題（プラスチック）、環境問題（紙コップ）が存在する。海洋問題とは、海洋生物や鳥類などがプラスチック製品の廃棄物により傷などを負い、また、自然分解が難しく、数百年も残るため、問題視されているもの。環境問題とは、前述のプラスチック対策として普及した紙コップが、問題となった物であり、具体的には、紙コップの使用量が急激に増加したことによる大規模な森林伐採、また、大量なCO₂の放出による空気問題などのことである。

3. 研究テーマの課題

- 使い捨てプラスチックの完全廃止及び、廃棄可能な紙コップ製作
- マグカップの利用による割引制度の認知度の低さの改善

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

① 現在、行われている対策の改善

- ・生分解可能なコーティングを使用したコップの製作
- ・使い捨てカップ代の徴収

② 生分解可能な紙パックを用いた新たなコップの製作

利点

- ・分別不要
- ・即リサイクル、生分解可能
- ・製作ラインの簡略化（プラスチック製のフタを必要としないため）

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発）

紙コップの現状と、国外で行われている対策の効果及び日本での比較。また、生分解に要する各素材の時間や、生分解可能かつ紙コップに使用できる素材の調査。決定。

紙パックの素材を使用した紙コップ

6. 結果や今後の取り組み

4. にて記述したが、紙パックの素材が新しいコップを製作するに当たり最適な素材であると断定。これからは、紙パック素材のコップのデザイン・試作を行い、完全な製品化を目指す。

7. 参考文献

- レジ袋対策広がる 次は紙カップ削減へ

<https://www.mirai-port.com/category/planet/>

- 紙リサイクルの基礎知識

http://www.prpc.or.jp/recycle/waste_paper/

- 国際環境経済研究所 海洋プラスチック対策が世界で加速！日本も対応策

http://ieei.or.jp/2019/07/special201310_01_068/

- 牛乳パックの原料

<https://www.ogaki-city.ed.jp/open/eco/recycle/b/05/02.htm>

- 全国牛乳容器環境協議会

<http://www.yokankyo.jp/>

- 紙ストローの生分解実験大公開！

<https://www.paper-straw.jp/page/33>

- 日経工業新聞 三菱ケミカルの「紙コップ」が世界で評価された理由

<https://newswitch.jp/p/17142>

- 紙カップのリサイクルは何が問題でスタバはどう解決しようとしているのか

<https://sugu-kan.com/about-paper-cup-recycle>

- スターバックス、ロンドンで使い捨てカップ代の徴収をテスト導入へ

<https://ideasforgood.jp/2018/01/17/starbucks-fine/>

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物（例．商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

【企画シート作成上の注意】※「第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、翌年 3 月に公開予定の「日経ビジネス電子版」にリンクされた特設サイトに掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

↑ここまでを 4 ページ以内に収めて、提出してください↑